

モーリタニア月例報告
(2025年7月)

2025年8月
在モーリタニア日本国大使館

【内政】

7月14日 米国への不法移民に関する注意喚起声明：外務省

【外政】

7月 2日 チェコ国防相の当地訪問、軍事協力覚書の署名

7月 9日 モーリタニア・米首脳会談他

7月16日 モーリタニア・スペイン関係（サンチェス西首相のモーリタニア訪問）

7月22日 モーリタニア・中国関係（外交関係樹立60周年記念）

7月28日 中東和平（二国家解決に関する会議でのメルズーグ外相の演説）

【経済】

7月10日 ガズワニ大統領訪米：経済・ビジネス関係者らとの会合他

7月12日 大阪・関西万博：モーリタニア・ナショナルデー

【経済協力】

7月 2日 安藤 JICA 理事の当地訪問
第2回 JICA 研修生参加者の集い

【内政】

●米国への不法移民に関する注意喚起声明：外務省

（7月14日付、当地政府系メディアAMI）

1 モーリタニアと米国は、相互尊重と幅広い分野にわたる共通の利益における緊密な協力に基づいた、強固かつ持続的なパートナーシップを再確認する。

2 近年、一部のモーリタニア国民による米国への不法移民が相次いでおり、これには深刻な法的リスク、人道的リスクが伴う。モーリタニア当局は、関係する市民及びその家族に対し、この現象の深刻さと、重大な法的なリスク、安全上のリスクを伴うこの問題に対処する必要性について注意を喚起する。

3 このような背景のもと、モーリタニアと米国の緊密な国際的パートナーシップに基づき、モーリタニア当局は、米政府と緊密に連携し、両国の国境の安全確保と自国民の保護に引き続き取り組んでいく。

4 外務省は、以下の点を強調する。

（1）米国への渡航に際しては、米国当局から適切なビザ及び合法的な入国許可を取得するまでは、渡航を控えること。

（2）ビザの有効期限が切れた後も米国内に滞在することは、違法行為であり、国外退去処分及び将来の再入国禁止の対象となること。

（3）移民の密入国組織への関与及び書類の偽造は、当人の生命と安全を脅かす重大な法的リスクを伴うこと。

（4）米国への移住または居住を希望する市民は、トラブルや刑事罰を受けることを回避するために、渡航前に関連法規を正確かつ十分に理解することを強く推奨する。

5 外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人省は、引き続き海外における市民の利益保護に尽力するとともに、米国を始めとする国際パートナーとの協力関係を強化し、人間の尊厳を守り、安全で将来性ある合法的な移住手段の支援を継続することを改めて表明する。

【外政】

●チェコ国防相の当地訪問、軍事協力覚書の署名

（7月2日付、当地政府系メディアAMI）

1 大統領表敬

（1）ガズワニ大統領は、2日、大統領府において、当地訪問中のチェルノホ

ヴァー (Mme Jana Cernochova) チェコ国防大臣率いる高官代表団を接見した。この公式訪問は、特に防衛・安全保障分野における二国間協力の強化を目的としたものである。

(2) 会談の中で、大統領は、モーリタニアが相互尊重と共通の利益の追求を基本原則とし、戦略的パートナーシップを多様化し、友好国との関係発展に取り組んでいると強調した。

2 軍事協力に関する覚書署名

(1) 2日、シディ防衛・退役・殉教者子女大臣とチェルノホヴァー・チェコ国防大臣は、ヌアクショットで軍事協力に関する覚書に署名した。

(2) この覚書は、チェコ国防大臣が1日から開始したモーリタニア訪問の2日目にあたる日に署名された。この覚書には4つの主要な条項が含まれている。最初の条項は、特殊部隊及び平和維持部隊の養成、訓練、相互訪問、支援に関する協力である。

(3) 第2条項は、両国の軍事産業及び技術分野における協力並びに必要な応じたチェコの経験の活用に関するものである。

(4) 第3条項は、軍事情報分野における両国間の協力及びテロ対策とサイバーセキュリティに関する情報交換に関するものである。

(5) 最後の第4条項は化学兵器、サイバー兵器、放射性物質兵器及び核兵器からの防護分野における協力と専門知識の交換に関するものである。

(6) 両大臣は、両国間の既存の協力関係を強化・発展させる可能性について議論する実務会合を開催した。この会合では、特に、国防省の管轄分野における両国間の既存の協力関係を発展させ、強化する可能性について議論された。

●モーリタニア・米首脳会談他

(7月9日付、当地政府系メディアAMI)

1 米大統領とアフリカ5か国首脳との会談

(1) 9日、ガズワニ大統領は、ホワイトハウスで開催されたトランプ米大統領との会談において、モーリタニアの豊かな可能性と投資機会について説明した。この会談には、セネガル、ガボン、リベリア、ギニアビサウの各大統領も出席した。

(2) ガズワニ大統領はまず、自身及び他のアフリカ首脳への招待に対して深い謝意を表し、複数の地域での平和構築に取り組むトランプ大統領の努力を称賛した。そして、ガザ地区における戦争終結に向けて共に取り組む必要性を強調した。

(3) またガズワニ大統領は、今回の招待が米国によるアフリカ諸国への関心

を示す前向きなメッセージであると述べ、トランプ大統領のアフリカへの関与に強い満足感を示した。そのうえで、トランプ政権が再登板以来、世界の平和構築において重要な役割を果たしていることに触れ、パキスタン・インド間の紛争解決、イラン・イスラエル間の戦争の停止、ルワンダ・コンゴ（民）間の和平合意の締結などを例に挙げた。

（４）中東問題についても言及し、大統領はこの地域での紛争が約８０年にわたり続いており、特に過去２年間のガザ地区での流血の激しさと多くの犠牲者を「容認しがたい」と表現した。

（５）モーリタニアの地政学的優位性について言及し、同国が大西洋沿岸に位置し米国にも近いこと、また北アフリカとサブサハラ・アフリカを結ぶ結節点であることを強調した。

（６）経済面では、モーリタニアが過去６０年にわたりアフリカで２番目に大きな鉄鉱石生産国であることや、同国の海域が特に水産資源において非常に豊富であることを紹介した。

（７）最後にガズワニ大統領は、平和と投資に対するモーリタニアの強いコミットメントを再確認するとともに、米国との経済的・戦略的な強固なパートナーシップの構築に期待を示した。

２ モーリタニア・米首脳会談

同日、ガズワニ大統領は、ホワイトハウスにて、トランプ米大統領と会談した。この会談には、シュルーカ大統領官房長大臣をはじめ、米国大統領の側近数名も同席した。

３ 米国務次官補との会談

（１）ガズワニ大統領は、同日夜、ランダウ（Mr. Kurt Landau）米国務次官補と会談した。会談には両国の代表団も同席した。

（２）この会談では、ガズワニ大統領がトランプ大統領との首脳会談で取り上げた協力強化に関する諸点のフォローアップと実施について協議が行われた。

（３）両者は、モーリタニアと米国の民間セクター間のパートナーシップを強化し、両国の繁栄に資する協力を進める方策について意見を交わした。また、サヘル地域における地域安全保障の課題についても話し合われた。

（４）会談の中で、双方は戦略的パートナーシップを一層深化させる意向を共有するとともに、二国間及び地域レベルでの優先課題について今後も連携を継続していく方針を確認した。

●モーリタニア・スペイン関係（サンチェス西首相のモーリタニア訪問）

(7月16日付、当地政府系メディアAMI)

1 第1回ハイレベル会合を閉幕

(1) モーリタニア大統領及びスペイン首相は、16日夜、ヌアクショットで、モーリタニアとスペイン間の第1回ハイレベル会合の閉会式を主宰した。この会合は、モーリタニア・スペインビジネス評議会の開催を特徴とし、両友好国間の新たな投資の展望を開き、経済連携を深める歴史的な一歩となった。

(2) 閉会式では、スペインがモーリタニアへの投資を支援するために2億ユーロの資金支援を行うことや、両国の経済関係者の直接の架け橋となるデジタルプラットフォーム「Kantara」の立ち上げなど、重要な発表と具体的なコミットメントがあった。

(3) 閉会の挨拶で、ガズワニ大統領は、このフォーラムは、「強固な友好関係と模範的な政治関係」に基づく二国間協力の強化において、民間部門が自らの役割を十分に果たすというコミットメントを反映した重要な一歩だと強調した。

(4) 大統領の演説は、以下のとおり。

モーリタニアとスペインの民間部門が、両国の経済関係者の相互理解と交流の機会となるこのイベントを主催してくださったことに感謝する。

このイベントは、私の考えでは、重要な一歩であり、強固な友好関係と模範的な政治関係に基づくモーリタニアとスペインの協力強化において、民間部門が自らの役割を十分に果たすというコミットメントを反映している。

一般的な枠組みは整っており、政治的な意志も存在し、投資の機会も多様かつ豊富であることから、共同プロジェクトの設立を推進し、その実現に向けて前進して行くことを強くお勧めする。

モーリタニアは現在、漁業、農業、畜産、採掘・鉱業、インフラ（道路、橋、空港、公共建築物）などの生産部門並びにサービス、ガス、鉱物部門において、幅広い有望な投資機会を提供する開かれた現場となっている。

モーリタニアとスペインは、経済発展の推進において民間部門が果たす中心的な役割を確信しており、そのため、両国政府は、皆様を支援し、手続きを円滑化し、皆様の事業展開を妨げるあらゆる行政上の障害や複雑な手続きの解消に努めることにコミットしている。皆様は、我々の全面的な支援を受けることができる。この勢いを活かし、両国国民に恩恵をもたらす具体的な成果へとつなげてほしい。

(5) 一方、サンチェス首相は、政治的な意思を経済的な現実へと反映させるための具体的な措置を次々と発表した。

サンチェス首相は、投資を支援するための2億ユーロの野心的なパッケージを発表した。このパッケージは、グリーンプロジェクトへの融資、F Sの資金

援助、リスクヘッジやプロジェクトの実施促進ツールなどに配分される。

制度上の存在感を強化するための具体的な取組みとして、同首相は、9月1日から、大使館の取組みを支援し、現地のスペイン企業を支援するため、スペイン初の経済・通商代表をモーリタニアに派遣すると発表した。

同首相は、両国の関係強化を歓迎し、スペインはすでに、EU加盟国の中でモーリタニアの最大の顧客であり、3番目の供給国であると強調し、この関係をさらに強化・多様化する余地は大きいと述べた。

また、同首相は、自国が「アフリカ・フォワード・アライアンス」イニシアチブをモーリタニアにも拡大し、欧州の「グローバル・ゲートウェイ」イニシアチブを活用して、インフラとエネルギー分野における戦略的プロジェクトに資金援助を行う意向を表明した。

2 モーリタニア・スペインビジネスフォーラム

(1) モーリタニア・スペインビジネスフォーラムは、ブー経済・財務大臣の議長、両国の官民代表の出席の下、16日朝開会した。演説において、経済・財務大臣は、モーリタニアとスペインのハイレベル会合（大統領とスペイン首相）の-marginでフォーラムの開会を歓迎した。

(2) 同大臣は、スペインのパートナーの貴重な出席と、両国の経済パートナーシップを支援する新たなコミットメントに感謝し、このフォーラムは、二国間の経済対話を強化し、投資を刺激し、両国の民間部門間の強固な戦略的パートナーシップを構築するための重要な時期に開催されていると強調した。同大臣は、モーリタニアは、ガズワニ大統領の指導の下、構造改革、特に投資家を指導・支援するための国家投資促進庁の設立、投資法の近代化、PPPに関する新法の制定などを通じて、魅力的な投資環境の整備に努めていると説明した。

(3) 経済・財務大臣は、モーリタニアとスペインの民間部門が、努力とエネルギーを結集し、モーリタニア市場が提供する有望な投資の展望を探求し、それを実りある相互に有益なパートナーシップの機会へと転換することで、二国間協力のダイナミズムを強化する上で果たすことのできる重要な役割を称賛した。

(4) これを受けて、モハメド・クーナ・モーリタニア商工農業会議所会長は、スペイン代表団を歓迎し、このフォーラムの優れた準備を称賛した。同氏は、このフォーラムは、モーリタニアとスペインの民間機関が協力し、相互の協力と統合を強化し、両兄弟国の相互利益と経済統合に基づく有益なパートナーシップを構築する絶好の機会であると述べた。

(5) 同氏は、この分野における目標を達成するため、モーリタニア商工農業

会議所は、２０２３年にモーリタニア・スペインビジネス評議会を設立するため、スペインのいくつかの商工会議所と協力してきたと述べ、同評議会の設立は、２０２４年にサンチェス首相がモーリタニアを訪問した際に、ガズワニ大統領、サンチェス首相が監督した。同大臣は、この協議会はモーリタニアとスペインの民間団体間の知識とコミュニケーションの架け橋となり、両友好国の経済強化に貢献すると説明し、このフォーラムが両国の経済関係者のネットワークを拡大し、この分野における有望な展望を開くことに貢献すると強調した。

（６）一方、アハメド・モーリタニア経団連会長は、本日ヌアクショットを訪れたこの重要なスペイン代表団の訪問は、外交の一環であるだけでなく、何世紀にもわたる人的、経済的、文化的な交流によって培われた長年の関係の延長線上にあるものであり、モーリタニアとスペインは地理的に近いだけでなく、豊かな歴史、自然な隣国関係、そして共に築き上げるべき共通の未来によって結ばれていることを強調した。

（７）さらに、今日、我々は、大きな経済圏、国境を越えたバリューチェーン、戦略的パートナーシップの追求によって支配されており、経済関係を統一し、共同プロジェクトを構築し、経済主体とのパートナーシップを発展させて、両国の関係を新たな展望へと前進させる必要があることを指摘し、大統領とサンチェス首相が、両国の二国間関係に明確な推進力を与えるという共通の意志を表明したことを称賛した。

（８）一方、モンタルボ・スペイン商工会議所国際部長は、本フォーラムの開催を歓迎し、同フォーラムが両国の経済主体間の協力関係の構築において果たす役割を称賛した。

（９）バレラ・スペイン国際貿易投資総局長は、モーリタニアとスペインにとって初めてのこのフォーラムは、さらなるパートナーシップと協力に貢献するだろうと述べ、この経済会合の開催は、さまざまな経済分野における両国の関係の水準を示す指標であると指摘した。

（１０）この会議では、ブー経済・財務大臣による「Kantara」プラットフォームの正式な立ち上げも発表された。このプラットフォームは、ワレド・モーリタニア・スペインビジネス協議会会長によって紹介され、投資機会を紹介し、企業間のネットワークを構築し、経済情報へのアクセスを容易にする双方向型の場を提供することで、両国のパートナーシップのダイナミズムを強化するものだと説明された。

（１１）開会式の一環として、アハメド・モーリタニア投資促進庁（API M）副長官が同国の投資機会と、ここ数年のビジネス環境の改善について講演し、手続きの簡素化と外国投資の促進のために採用された改革、及び農業、エ

エネルギー、鉱業、観光分野におけるモーリタニアの経済の可能性について概説した。

(12) このフォーラムでは、加工、農業、畜産、漁業、鉱物、エネルギー、水、環境、物流、観光の各分野におけるビジネスと投資の機会について議論する一連の分科会も開催された。

(13) フォーラムでは、モーリタニアとスペインの企業代表者が参加して、制度に係る経験に関する円卓会議も開催された。このフォーラムは、両国間のハイレベル会合で開始された共同の取組みの成果であり、相互の信頼、共通のビジョン、相互の利益に基づく、両国国民に恩恵をもたらす新たな経済協力の基盤を築くものとなっている。

(14) 開会式には、アフメドナ商業・観光大臣、ベイバト農業・食料主権大臣を始めとする両国の政府高官、及びモーリタニアとスペインの省庁や経済団体の代表者が参加した。

3 共同記者会見

(1) ガズワニ大統領は、16日、ヌアクショットの大統領官邸で、サンチェス首相と、モーリタニア・スペイン間の第1回ハイレベル会合の終了後に記者会見を行った。

(2) 大統領は記者会見で、モーリタニアとスペインの良好な関係は、両国間の深い友好の証であり、この二国間パートナーシップの特徴である協力と理解の精神を称賛した。

(3) 大統領は、スペイン政府が、地域及び国際レベルでの正義の擁護と平和と安全の促進にコミットしていることを高く評価し、連帯と責任分担の精神を体現するこの支援に対して謝意を表した。

(4) 大統領は、今回の会合は、安全保障、開発、移民、環境などの重要な共通課題や、再生可能エネルギー分野における協力の展望について議論する良い機会となったと述べた。

(5) 大統領は、サンチェス首相の賢明なリーダーシップと、サヘル地域及びアフリカ大陸全体の持続可能な開発努力を強化する、公平かつバランスのとれたパートナーシップの構築に向けた取組みを称賛した。

(6) 最後に、大統領は、今回の会合で得られた成果に深い満足の意を表し、これらの成果が、モーリタニアとスペインの二国間関係の強化と戦略的パートナーシップの確立に強力な推進力となることを強調した。

(6) 一方、サンチェス首相は、スペインとモーリタニアは、両国の野心にふさわしい、より高いレベルの経済関係を構築する決意を固めていると述べた。その証として、両国の友好、善隣、協力条約の批准と同時に、スペイン・モー

リタニア経済評議会が発足したとした。同首相は、このフォーラムは、ガズワニ大統領とサンチェス首相の監督の下、今夜閉幕すると述べた。

(7) サンチェス首相は、両国の国民福祉を確保する唯一の手段として、対話と協力に対する両国のコミットメントを強調し、両国は、地中海、ヨーロッパ南部の近隣諸国、サヘル、マグレブ、大西洋沿岸など、共通の地理的領域に関連する利益を共有していることを指摘した。したがって、これらの地域すべてにおいて、戦略的ビジョンを持って共同作業を行うことが、これらの地域における課題に対処し、機会を捉えるための最善の手段であるとした。

4 大統領とスペイン首相との首脳会談

16日、ガズワニ大統領はヌアクショットの大統領官邸で、サンチェス首相と首脳会談を行った。この会談は、友好国である両国の関係強化と発展を目的とした、サンチェス首相のモーリタニア公式訪問の一環として行われた。

5 4つの協定（覚書）署名

(1) サンチェス首相とガズワニ大統領は、移民、経済開発、安全保障に関する協力強化を目的とした共同文書に署名した。

(2) 両首脳は、ヌアクショットで会合を開き、両国首脳による初のハイレベル会合で締結された4つの協定について、共同声明で発表した。

(3) 両首脳によると、この会合の主な目的は、特に交通、社会保障、サイバーセキュリティ、国立公園の分野における両国の協力関係の強化である。両国の良好な関係と、移民、経済開発、安全保障、スペイン語教育、漁業（モーリタニアのGDPに大きく寄与する分野）における緊密な協力の意思が強調された。

(4) サンチェス首相には、第3副首相と6名の大臣が同行した。モーリタニア側からは、対応する閣僚が出席した。

(5) サンチェス首相は、7名の政府高官の参加は、スペインとモーリタニアの協力の広さと深さを示すものだ、関係を強化し続けるという意図は、現在の政府チームにとって引き続き優先事項だと述べた。最後に、同首相は、漁業や援助分野における伝統的な協力に加え、経済、移民、安全保障、文化などの分野でも、我々の二国間関係がますます重要になってきていると述べた。

(6) 両国の協力と関係の発展を目的として、両首脳は、モーリタニアとスペインの北アフリカ外交にとって重要な4つの分野における4つの協定（覚書）に署名した。

第一に、交通及びインフラ分野の発展に関する協定が締結された。この協定は、鉄道公共交通、空港管理、サービス提供者のデジタル化、航空支援及びす

すべてのモーリタニア国民のための公共交通の持続可能性を促進するための共同戦略を策定・計画するための協力の枠組みの構築を規定している。

第二に、モーリタニアの保護地域、バン・ダルガン国立公園、ジャウリン国立公園などの同国の主要な国立公園の管理を強化する協定が締結された。この目的のために、両政府は、生物多様性、生態系の回復、環境教育に関する経験の交換や研修を促進し、これらの自然地域及び生物圏保護区の管理について協力することになった。

第三に、移民労働者の安全と権利の向上に関する協定が締結された。アフリカ諸国からモーリタニアに就労のためにやってくる人々に適用される条件と協約を規定するとともに見直もする枠組みが締結された。

最後に、サイバーセキュリティに関する協定が、国立サイバーセキュリティ研究所（INCIBE）とモーリタニアのカウンターパート機関との間で締結された。この協定は、テロの脅威や子どもの権利の保護などに関する情報の交換や専門的研修を通じて、サイバー能力とデジタル強靱性の向上を目的とした新たな協力の枠組みの構築に貢献する。

（７）これら４つの協定（覚書）に加え、モーリタニアの漁業部門の重要性を認識しているスペインは、２０２６年まで、モーリタニアの２大港であるヌアディブとヌアクショットにおいて、同国の漁業従事者に航海及び漁業に関する研修を行う漁業協力訓練船「Intermares」の提供を提案した。

（８）両首脳は共同声明で、現在の関係を維持する意志を表明した。この目的のために、両国間の対話能力の向上を通じて政治的・多国間のコミットメントを強化し、国連憲章の原則を尊重し、遵守することにより、より公正な国際秩序を推進することで合意した。

（９）声明の中で、サンチェス首相は、ガズワニ大統領のアフリカ諸国を代表してのセビリアサミットへの参加及び同サミットを高く評価したことに対し謝意を表した。最後に、ヌアクショットに複数の新たなセルバンテス文化センターを開設することが合意された。

●モーリタニア・中国関係（外交関係樹立６０周年記念）

（７月２２日付、当地政府系メディアAMI）

１ 祝辞交換（外交関係樹立６０周年）

（１）モーリタニアと中国との外交関係樹立６０周年に際して、ガズワニ大統領と習近平中国国家主席は祝辞を交換し、両国間の友好と協力の絆の強さに言及した。

この機会に、ガズワニ大統領は、６０年間続いてきたモーリタニアと中国のパートナーシップの深さを強調し、発展途上国間の建設的な協力と相互支援のモ

デルであると述べるとともに、あらゆるレベルにおける緊密な連携と確かな理解について言及した。

（２）同大統領は、昨年９月に開催された中国・アフリカ協力フォーラムの北京サミットにおいて、習国家主席と会談し、両国の関係を戦略的パートナーシップに格上げすることを発表したことを想起し、この一歩は、信頼と尊敬の長い道のりの集大成であり、協力を深めるという共通の政治的意志の真摯な表明であるとし、両友好国民の利益に資するとともに、国際的なレベルでの人々の安全、安定、幸福の促進に貢献するものであると述べた。

（３）同大統領は、相互尊重と効果的なパートナーシップの価値観に基づき、より豊かな共通の未来を築くために中国と協力し続けることへのモーリタニアの熱意を強調した。

（４）一方、習国家主席は、モーリタニアと中国の関係の継続的な発展を賞賛し、６０年の歳月がその関係をより強固なものにしてきたと述べた。また、両国民の幸福と利益のために戦略的パートナーシップの新たな地平を切り開くため、ガズワニ大統領と協力する用意があることを確認した。

２ 中国主要メディアに対するガズワニ大統領インタビュー

（１）冒頭

ガズワニ大統領は、中国とモーリタニアの関係が６０年以上に亘って築かれてきた確固たるものであり、協力、相互尊重、双方の利益に基づいた交流に加え、国際・地域の共通課題についてしばしば一致した立場をとる高い協調性に支えられていると述べた。

同大統領は、こうした強固な関係が、インフラ、漁業、保健、教育、エネルギー、産業、交通、デジタル技術など、あらゆる分野にわたる多様な協力とパートナーシップの展開につながっていると語り、両国は常に、友好的な両国民の願いに応える形で関係のさらなる強化を目指していると強調した。

また、２０１９年に自身が大統領に就任して以来、モーリタニアと中国の協力関係は複数の分野で顕著な発展を遂げ、戦略的パートナーシップや新たな開発イニシアティブによって国家経済の多角化と発展を支えていると述べた。例えば、２０２５年４月には両国間で２億元（約１１億新ウギア）規模の経済・技術協力協定が締結され、開発プロジェクトの資金として活用されている。

（２）経済関係

中国は現在、モーリタニアにとって最大の貿易相手国であり、ガズワニ大統領は、鉱物、クリーンエネルギー、インフラ分野における数多くの有望な投資機会を通じて、中国からの投資を呼び込むことに意欲を示し、税制優遇措置やモーリタニアの地理的優位性を活かしたさらなる協力の可能性に言及した。

また、両国間の貿易は戦略的な貿易パートナーシップを背景に拡大を続け、2024年には取引総額が24億1000万ドルに達し、2023年比で7.59%の増加となった。その結果、モーリタニアの貿易収支は3億3000万ドルの黒字となり、特に鉄鉱石の輸出の約70%を中国が占めている点が、経済パートナーシップの強化に寄与したと述べた。

さらに、同大統領は、モーリタニアが持つ戦略的立地と資源の豊かさ、そして中国との強固な関係により、中国が提唱する「一帯一路」構想を一貫して強く支持してきたと強調。この構想は、中国と世界各国との経済的関係を多角化し、貿易、パートナーシップ、投資機会の創出を目的とした重要かつ野心的な取り組みである。

協力は貿易にとどまらず、インフラ分野では中国企業がモーリタニアとセネガルを結ぶロッソ橋、友情橋、各種道路、タニット港、ンジャアゴ港などの大型プロジェクトに参画している。また、農業分野では中国の支援によりモーリタニアでの稲作が発展し、食糧安全保障の向上にも貢献。漁業分野でも複数の中国企業が水産加工を通じて付加価値を高め、雇用創出に貢献している。さらに、デジタル分野でも複数の中国企業が携帯通信・インターネット網の近代化に貢献していると述べた。

大統領はまた、モーリタニアが化石燃料から再生可能エネルギーへの円滑な移行を目指す「包括的かつ持続可能なエネルギー転換」に取り組んでおり、太陽光、風力、グリーン水素といった豊富な資源を活かし、中国との技術移転と投資によって、アフリカにおけるエネルギー転換の先頭に立つことができると述べた。

（３）外交関係

外交面については、モーリタニアが国際社会における自国のイメージを非常に重視し、相互尊重と善隣関係を基本としたバランスのとれた積極外交を展開しており、地域、アフリカ大陸、さらには国際的なレベルで平和と安定、協力を推進していると述べた。

（４）中国・アフリカ関係

大統領は中国がアフリカ各国の経済発展を促進する役割についても言及し、モーリタニアと中国の協力関係は、国・アフリカ全体の枠組みの一部であり、南南協力の模範として包摂と開放の精神を体現し、中国・アフリカ協力フォーラムを始めとする効果的なメカニズムによって強化されていると述べたとした。この協力は、2000年の設立以来、共同发展を推進し、相互利益に基づく未来を築く能力を示してきた。

中国とアフリカ間の貿易額は、2024年には約2,956億ドルとなり、前年比4.8%の増加となった。中国は今後3年間で、アフリカに対して36

00億元（約510億ドル）を超える新たな資金援助と投資を行うことを約束している。

さらに大統領は、習国家主席との会談を通じて、中国がアフリカ諸国、特にモーリタニアとの関係強化に誠実かつ真剣に取り組んでいる姿勢を強く感じたと述べ、中国が途上国支援において透明性、相互尊重、共通利益を重視している点を称賛した。

（５）中国・アラブ関係

最後に、大統領は中国とアラブ諸国との関係にも言及し、モーリタニアはこの関係の発展を非常に重視しており、中国の技術発展の恩恵を活かした経済協力と戦略的パートナーシップの構築に尽力していると語った。中国とアラブ諸国の関係は、両者が包括的かつ実りある協力関係を築こうとする共通の意志に基づき、今後も貿易の拡大と多様化を通じて一層強化されていくと述べた。

（６）インタビュー冒頭では、ガズワニ大統領は習国家主席及び中国政府と国民

に対し、自身及びモーリタニア国民・政府を代表して、心からの祝意と、両国の深い友情と堅固な関係への深い誇りを表明した。

３ 当地中国大レセプション

（１）当地中国大使館は18日午前、モーリタニアと中国の国交樹立60周年を記念するレセプションを開催した。式典には、メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大臣、シディ防衛・退役・殉教者子女大臣、ウェディ保健大臣、エトゥファハDX・行政近代化大臣、エル・ヴェイリック設備・運輸大臣、ハトリCSA長官が出席した。

（２）メルズーグ外相はこの日のスピーチで、モーリタニアと中国の関係は昨年新たな飛躍を遂げ、両国間の共同宣言の発表に至り、両国の指導者共通のビジョンを具現化する形で、戦略的パートナーシップへと格上げされた、1965年7月19日以来、モーリタニアは中国との卓越した関係の基礎を築き、信頼、コミットメント、誠実な連帯の精神で発展、繁栄し、南南協力の成功モデルとなり、開発と尊厳に対する人々の願望に応える国際的パートナーシップの模範となったと説明した。

（３）また、両国間の経済協力は、道路、港湾、エネルギー施設を含む大規模なインフラプロジェクト、鉄や石油を中心とした鉱物・エネルギー分野での実りある協力、農業・漁業分野への支援の拡大など、質的な発展を遂げており、これは両国間の信頼関係の深さと補完性を反映していると付け加えた。

（４）また、多くのモーリタニア人学生が中国の大学で学ぶことを可能にした奨学金や、モーリタニア人患者の生活に大きな影響を与えた中国の医療使節団

を通して、両国間の協力は人道的・文化的側面も含んでいることを強調した。

（５）また、過去６０年間、モーリタニアと中国の関係は強い政治的な勢いと地域的・国際的な問題での緊密な連携によって特徴づけられてきており、モーリタニアは中国の主権と領土保全を守るため常に中国の側に立ち、「一つの中国」の原則を断固として支持することを確認する一方。中国はモーリタニアの開発努力を支援し様々な分野における国家能力の構築に貢献してきたと述べた。

（６）さらに、両国間の外交的ダイナミズムは、二国間の枠組みに留まらず、国際フォーラムにおける相互支援や、多くの地域的・国際的な問題に対する見解の一致を通じた多国間協力も含まれており、それは、両国が昨年５月に国際調停機構（ＩＭＯ）の創設メンバーとして加盟したことによって強化されたと付け加えた。

（７）唐当地中国大使は、スピーチで、モーリタニアと中国の関係は相互尊重と共通の利益に基づくものであると説明し、両国間の政治的相互信頼と核心的利益問題への継続的な支援がこの関係の特徴であると述べた。また、モーリタニアが「一つの中国」の原則を揺るぎなく支持し、地域的・国際的な問題に対する中国のイニシアティブに積極的に対応していることを称賛した。

（８）また、近年、習国家主席とガズワニ大統領の戦略的指導により、両国関係は包括的な発展の新たな段階に入り、２年以内に３回の首脳会談を経て戦略的パートナーシップのレベルにまで引き上げられ、協力強化の大きな地平が開かれたと述べた。また、中国はモーリタニアの経済発展への努力を支援していると強調した。

４ 在中国モーリタニア大レセプション

（１）１８日、在北京モーリタニア大使館は、モーリタニアと中国の外交関係樹立６０周年を祝うレセプションを開催した。式典はフィラリ在中国モーリタニア大使が議長を務め、中国当局を代表して王光謙中国人民政治協商会議全国委員会全国政協副主席、劉彬中国外交部助理、中国共産党や中国各省の代表、その他多数の高官が出席した。

（２）大使は式典でのスピーチで、モーリタニアと中国が１９６５年以来強い友好関係を築いてきたことを指摘し、これらの関係は友好、政治的信頼、相互尊重、ウィンウィンの協力に基づいていると説明した。

（３）また、この６０年間、両国間の協力は、インフラ、エネルギー資源開発、デジタルトランスフォーメーション、貿易、投資、教育、職業訓練、食料安全保障、軍事協力、人的交流、文化交流など、多くの分野で急速な発展を遂げてきたと強調した

（４）最後に、モーリタニアと中国の協力関係は、両国の指導者が両国民の利益のために関係強化に全力を尽くすことを約束したことで、前途有望であると述べた。

（５）中国人民政治協商会議副主席は、両国間の強固で卓越した関係を称賛し、国際情勢の大きな変化にもかかわらず、友好関係は着実に発展してきたと強調した。彼は、両国が二国間協力を通じて顕著な成果を達成し、南南協力の模範となっていることを強調し、ガズワニ大統領と習国家主席が、あらゆるレベルでの関係強化と協力の発展に関する重要な合意に達したことを指摘した。

（６）また、「一帯一路」構想の下で、中国はモーリタニアと専門知識と開発成果を共有し、モーリタニアとの質の高い協力を拡大する用意があり、それは両国民に利益をもたらすものであると強調した。

（７）世界が激動と変革の新たな局面を迎える中、伝統的な友好関係を強化し、国家の発展と復興の追求において相互支援を継続し、リスクと挑戦に立ち向かい、共通の利益を促進するために協力し合うことがますます重要になっていると付け加えた。

（８）また、中国は真の多国間主義を実践し、多極化した平等で秩序ある世界、包摂的ですべての人に恩恵のある経済グローバル化、より公平で公正な国際秩序を維持するために、モーリタニアと共に歩む中国の用意があることを表明した。

（９）両国の国家主席の戦略的指導の下、両国民は初志を貫徹し、両国関係のより良い未来に向けて前進してくだらうと述べた。

●中東和平（二国家解決に関する会議でのメルズーグ外相の演説）

（７月２９日付、当地政府系メディアAMI）

１ ２８日、メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大臣は、ニューヨークで開催されたパレスチナ問題と二国家解決に関する会議の参加者に対して、原則的な立場から、ガザ地区及びすべてのパレスチナ被占領地域における継続的な人道的悲劇を終わらせるための政治的コミットメントと具体的かつ効果的な行動に移る必要性を強調した。

２ 同大臣は、現在の状況はもはや待ったなしであり、国際社会は、残された人間の尊厳を守り、戦争と破壊の機械によって苦しめられ、根こそぎにされた人々に希望を取り戻すための具体的な措置を講じて、その責任を全うする必要があることを強調した。

３ 大臣は、パレスチナ問題の平和的解決による決着はもはや受け入れ可能な

選択肢ではなく、先送りされた解決策は危機を悪化させるだけであり、国際的な基準に基づき、人道及び倫理の原則と条約に立脚した実行可能なロードマップを策定し、国際法の地位と人間の良識の声を回復するために、協力し合う必要があると明言した。

4 同大臣は、国際法及び国連関連決議に基づき、1967年6月4日の国境線上に、東エルサレムを首都とする独立したパレスチナ国家の創設につながる、パレスチナ問題に対する公正かつ永続的な解決に向けたモーリタニアの揺るぎないコミットメントを改めて表明した。

5 同大臣は、ガズワニ大統領が繰り返し表明してきたモーリタニアの立場は、この同盟の基盤である正当な人道的問題を擁護するすべての者の立場と一致していることを改めて強調した。

6 同大臣は、パレスチナ人民の権利と尊厳を尊重せず、平和に必要な法的・道徳的要素を欠くあらゆる解決策は、中東地域における安全で安定した未来の構築の障害となることを強調した。

7 同大臣は、今回の会合が、強力な集团的意志が表明され、同盟内の効果的なフォローアップ・調整メカニズムに支えられた、厳格かつ実現可能なロードマップの策定につながる決定的な瞬間となることを期待し、これにより、国際社会における発言と立場の一致が強化され、中東の公正な平和を実現するための唯一の選択肢である「二国家解決」に向けた政治的勢いが再燃し、パレスチナが主権国家であり、国連加盟国として完全な地位を有する国家として認められることになるとした。

8 同大臣は、モーリタニアを代表して、パレスチナ問題の政治プロセスを再開するため、二国家解決のための同盟の設立と始動に真摯に取り組んでいるサウジアラビアに深い謝意を表し、また、多くの国や地域組織とともにこのプロセスを推進し、国際的な均衡を強化し、パレスチナ問題の公正かつ永続的な解決の要請の実現に貢献する方向へとこのプロセスを推進させる上で仏が果たしている中心的な役割について謝意を表した。

【経済】

- ガズワニ大統領訪米：経済・ビジネス関係者らとの会合他
(7月10日付、当地政府系メディアAMI)

1 米アフリカビジネスセンター会長との会談

(1) 10日、ガズワニ大統領は、ワシントンの米国商工会議所本部にて、ケンドラ・ゲイザー米アフリカビジネスセンター会長と会談した。この会談には、ウィル・スティーブンス米務省アフリカ局西アフリカ担当副次官及びマイク・アンダーソン・コスモス・エナジー社対外関係担当上級副社長が同席し、またガズワニ大統領に随行する代表団も会談に参加した。

(2) 会談では、モーリタニアと米国の経済関係者とのパートナーシップ強化の展望について意見が交わされ、特に、投資促進、ビジネス環境の整備、専門知識の移転といった分野での連携の可能性が話し合われた。これらはすべてモーリタニアの持続可能な経済発展に資することを目的としている。

2 米大手企業代表者とのハイレベル経済円卓会議

(1) 10日夜、ガズワニ大統領は、ワシントンの米国商工会議所主催によるハイレベル経済円卓会議を主宰した。会議には、エネルギー、鉱業、農業、デジタル技術分野で事業を展開する米国の大手企業の社長や役員が多数出席したほか、モーリタニアの公式代表団及び実業家代表団も参加した。

(2) この会議は、モーリタニアと米国の間で戦略的対話を深め、エネルギー、サイバーセキュリティ、インフラ、採掘産業といった重要分野における新たなパートナーシップの可能性を探る貴重な機会となった。

(3) 会議の中で、モーリタニア側は、国内の主要な投資機会や、ビジネス環境の改善、透明性の強化、ガバナンスの向上を目的とした経済・構造改革の実施状況について説明した。

(4) これに対し、米国側の参加者たちは、投資環境の整備に向けたモーリタニアの努力を高く評価し、同国市場での事業拡大や活動強化に対する関心を表明した。

(5) 本会議は、大統領が推進する経済開放政策の一環であり、外国からの直接投資の誘致と、持続可能な開発に資する質の高いパートナーシップの構築を目指す取組に位置付けられている。

3 在米モーリタニア人コミュニティ代表者との会談

(1) 10日夜、ガズワニ大統領は、米国在住のモーリタニア人コミュニティの代表者らと面会した。

(2) 大統領は歓迎の言葉を述べた後、コミュニティの代表者たちが発言する機会を設け、参加者からは彼らの状況や要望に関する主な懸念事項や提案について意見が述べられた。

(3) 大統領は、すべての意見に耳を傾ける姿勢を示す措置としてホテル外で

集まっていたコミュニティのメンバーの一部を会談に参加させ自由に意見を表明するよう指示した。大統領はすべての声は尊重され聞き届けられると強調した。

●大阪・関西万博：モーリタニア・ナショナルデー

（７月１３日付、当地政府系メディアAMI）

１ １２日、モーリタニアは、２０２５年大阪・関西万博において開催された「モーリタニア・ナショナルデー」の行事に参加した。このイベントは、モーリタニア商業・観光省、万博国家委員会及び在日モーリタニア大使館の協力のもとで実施された。

２ 行事では、ガイ（M. Amadou El Hadj GAYE）商業・観光省次官が司会を務め、大臣を代表して開会の辞を述べた。

３ 同次官は、こうした国際イベントへの参加が、モーリタニアの存在感を高め、投資機会や観光・文化の魅力を世界に発信する上で極めて重要であると強調した。

４ モーリタニア代表团には、ケブド（S.E.M. Abdellahi Bah Nagi KEBD）駐日モーリタニア大使のほか、商業・観光省の職員、技術者、エンジニア、文化・芸術分野の代表者らが含まれていた。

５ このイベントには、日本政府関係者や万博組織委員会のメンバー、各国の大使・代表者、経済・文化関係者など、ハイレベルな日本側出席者が多数参加した。

６ 文化プログラムでは、アーティスト（Dey Ould Beissif, Zeinabou Mint Hembara, Hawa Seck, アーティストBRMX）による音楽・芸術パフォーマンスが披露され、モーリタニアの豊かな文化の多様性が表現され、観客から大きな反響を得た。

７ モーリタニア・パビリオンでは、モーリタニアの全体像を反映する展示が、国産品や工芸品の紹介、観光・経済機会を示すプレゼンテーションを通じて行われた。

８ また、商業・観光省のスタッフが映像プレゼンテーションを行い、来場者

や投資家に対して直接的なプロモーションも実施した。

9 モーリタニアの参加は、各国の公式代表团やメディア関係者から高く評価され、多くの日本及び国際メディアによって報道された。

10 さらに、商業や観光分野を中心に、モーリタニアとの協力関係の構築を希望する声も多数寄せられた。

【経済協力】

●安藤 JICA 理事の当地訪問

(7月2日付、当地政府系メディア AMI)

1. 首相

(1) ジャイ首相は、2日、首相府執務室において、安藤 JICA 理事率いる日本代表团と会談した。

(2) 会談では、モーリタニアと日本との実りある協力関係と、その強化・発展の方策について意見が交わされた。

(3) 会談後、安藤理事は AMI の取材に対し、モーリタニアと日本の間には、特に漁業部門の発展において、長年に亘る実りある協力関係が存在すると述べた。

(4) また、これまでの協力で得られた良好な成果を踏まえ、両国の協力関係をさらに発展させる意向を首相に伝えたとし、サヘル地域における安定の実現におけるモーリタニア政府の重要な役割を認識していると強調した。

(5) さらに、モーリタニアによる難民受入れとその支援に向けた取組みに触れ、同国の努力を理解する機会を得たと述べた。

2. 外相

(1) メルズーグ・外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大臣は、2日、同省執務室において、安藤 JICA 理事率いる日本代表团を迎えた。

(2) 会談では、モーリタニアと日本との実りある協力関係及びその強化・発展の方策について意見交換が行われた。

3. 経済・財務大臣付予算担当大臣

(1) インゲノレ経済・財務大臣付予算担当大臣は、2日午後、執務室において、安藤 JICA 理事率いる日本代表团と会談した。

(2) 本会談は、モーリタニアと日本との協力関係、特に同機構が関与する経済・社会分野における協力の強化・発展方策を検討する機会となった。

4. 漁業・海洋インフラ・港湾インフラ省次官

(1) ブバカル (M. Sidi Ali Sidi Boubacar) 漁業・海洋インフラ・港湾インフラ省次官は、2日午前、ヌアクショットにて、安藤 JICA 理事率いる日本代表团と実務会合を行った。

(2) 会合では、漁業及び海洋・港湾インフラ分野における過去及び現在進行中の協力プロジェクト、進捗状況並びに将来の計画について協議された。

(3) 両者は両国間の協力関係の水準について満足の意を表明した。

●第2回 JICA 研修生参加者の集い

7月2日、JICA 研修への参加者（課題別研修、青年研修、長期研修、ABE イニシアティブ等に参加した研修生）を招き、第2回研修生OB会を開催した。当地訪問中の安藤 JICA 理事から参加者に対し激励の言葉が贈られた。また、元研修生のイニシアティブにより、研修生同窓会の正式発足に向けたアナウンスがされた。



